

地域審判トレーニングセンターの再構築

2016年7月14日

公益財団法人 日本サッカー協会
審判委員会



活躍と拡大



日本人審判員(男子):世界での活躍



1970



1986/90



1998



2002/06

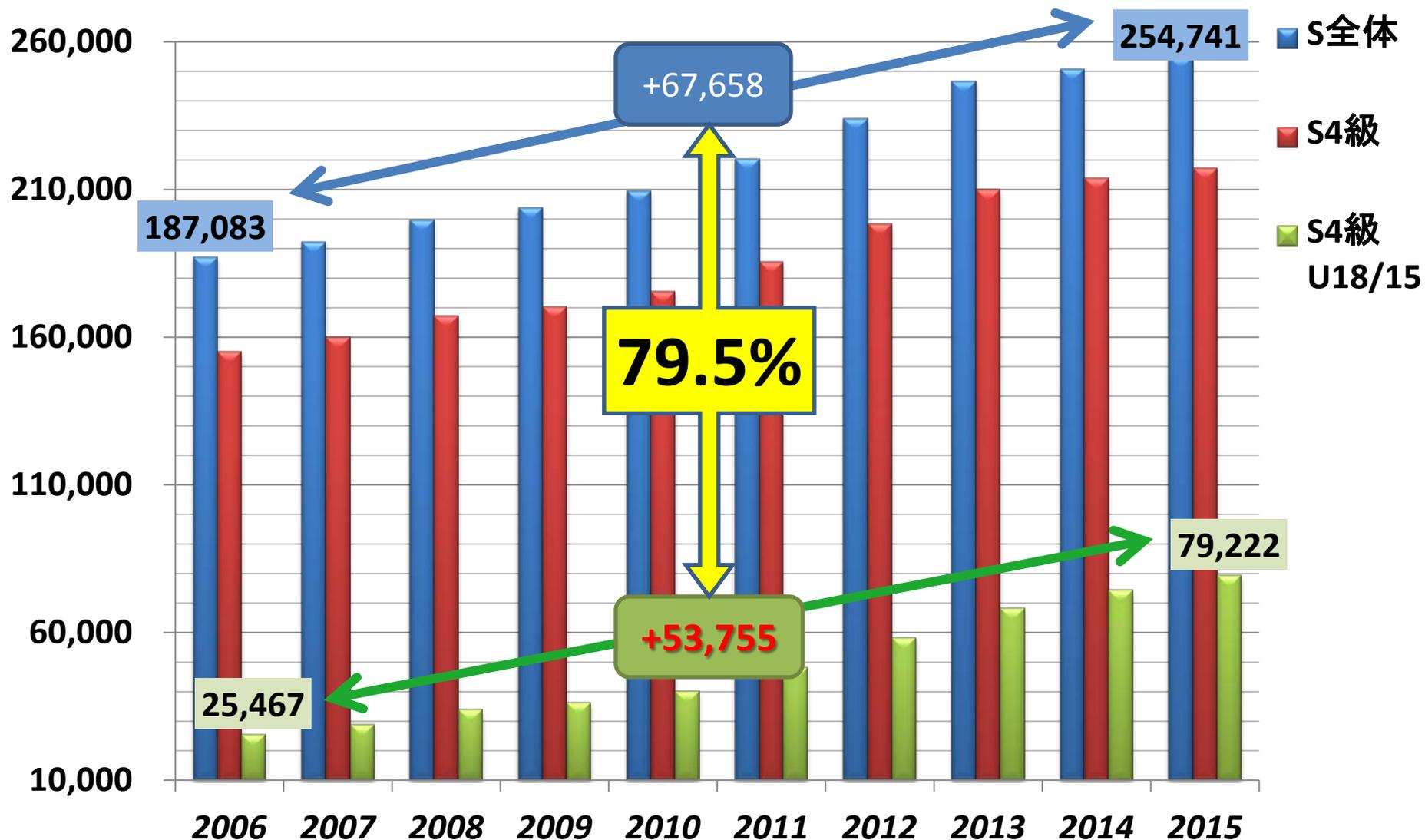


2010/14



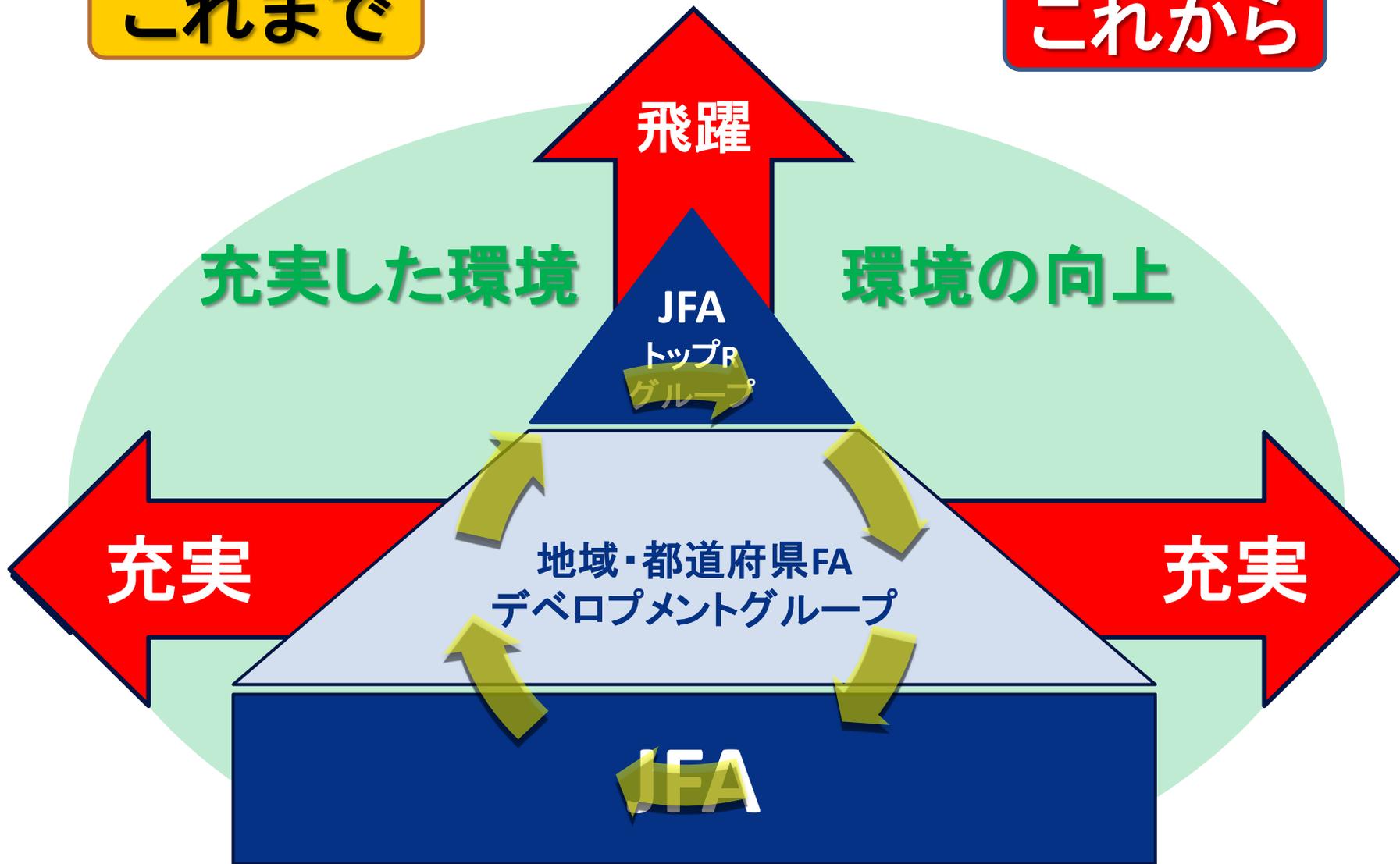
2018候補

審判資格保有者の拡大(サッカー審判員)



これまで

これから



“拡大から充実”、そして“活躍から飛躍”に向けて

地域・都道府県における審判育成環境の向上

- 一貫した審判育成システムの再構築
- 審判育成の推進と、双方向での情報共有

本日の提案



一貫した審判育成システム

1. 地域審判トレーニングセンター(トレセン)の再構築

- レフェリー育成・強化に不可欠な審判指導者の養成
- 地域からトップレフェリー候補の輩出機会を増加
- 地域/47FAにおいて、それぞれのレベルの競技会に必要な審判員の育成を充実

推進と双方向での情報共有

2. 審判デベロップメントオフィサー(RDO)の設置

- 審判指導と審判事業運営に専念できる人材配置

1. 地域審判トレセン

- 地域審判指導者トレセン
 - 審判指導者の重要性を再認識
 - スキルアップ・プログラムの構築
- 地域レフェリーアカデミーの新設
 - JFAレフェリーカレッジを地域レフェリーアカデミーに移行
 - ✓ 機会の拡大
 - 有望な若手2級審判員の発掘と強化
- 2級審判員育成・強化
 - 2級強化(1級候補)、シニア/新2級のサポート等

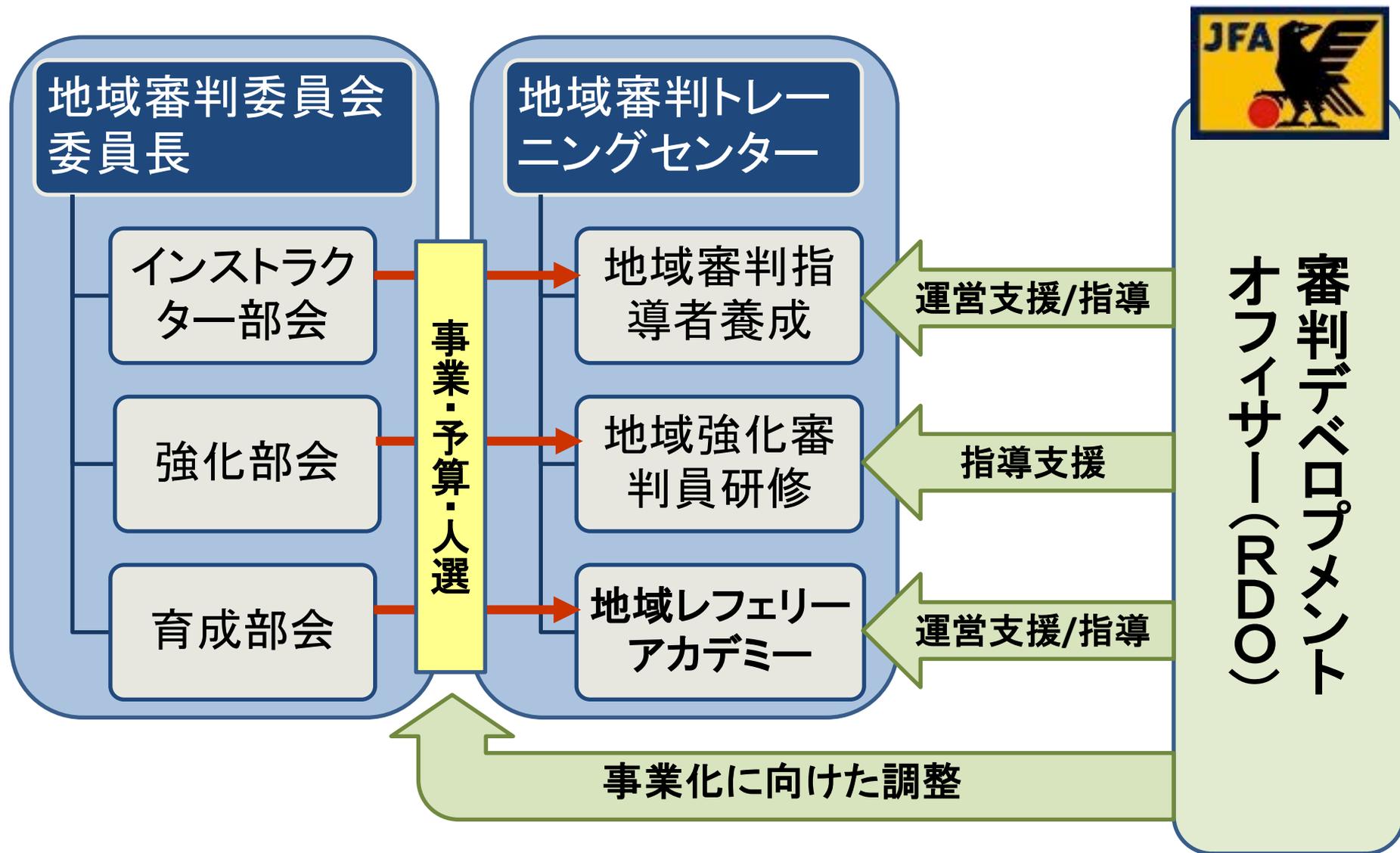
※同様なシステムを都府県(北海道においては地区)にも順次導入

2. RDOの設置:業務

- 審判指導者、また運用管理者として地域審判育成事業に関わる
- 地域/都府県FAの審判育成を支援する



2. RDOの設置:位置付け



地域審判トレセンの再構築とRDO配置：タイムライン

● 2017年度より順次実施し、2019年度に完全実施

- 2017年度：2～3地域FA
- 2018年度：3～4地域FA
- 2019年度：3地域FA

● RDOの配置

- JFAが雇用し、実施地域協会に派遣
- RDOは該当地域FAと連携して相応しい人材を選定
- JFA常勤審判インストラクター(8名)のうち、レフェリーデベロプメント担当者3名が継続的にサポート

※2017年度実施地域協会およびRDO候補者は、10月までにJFA理事会に提案する

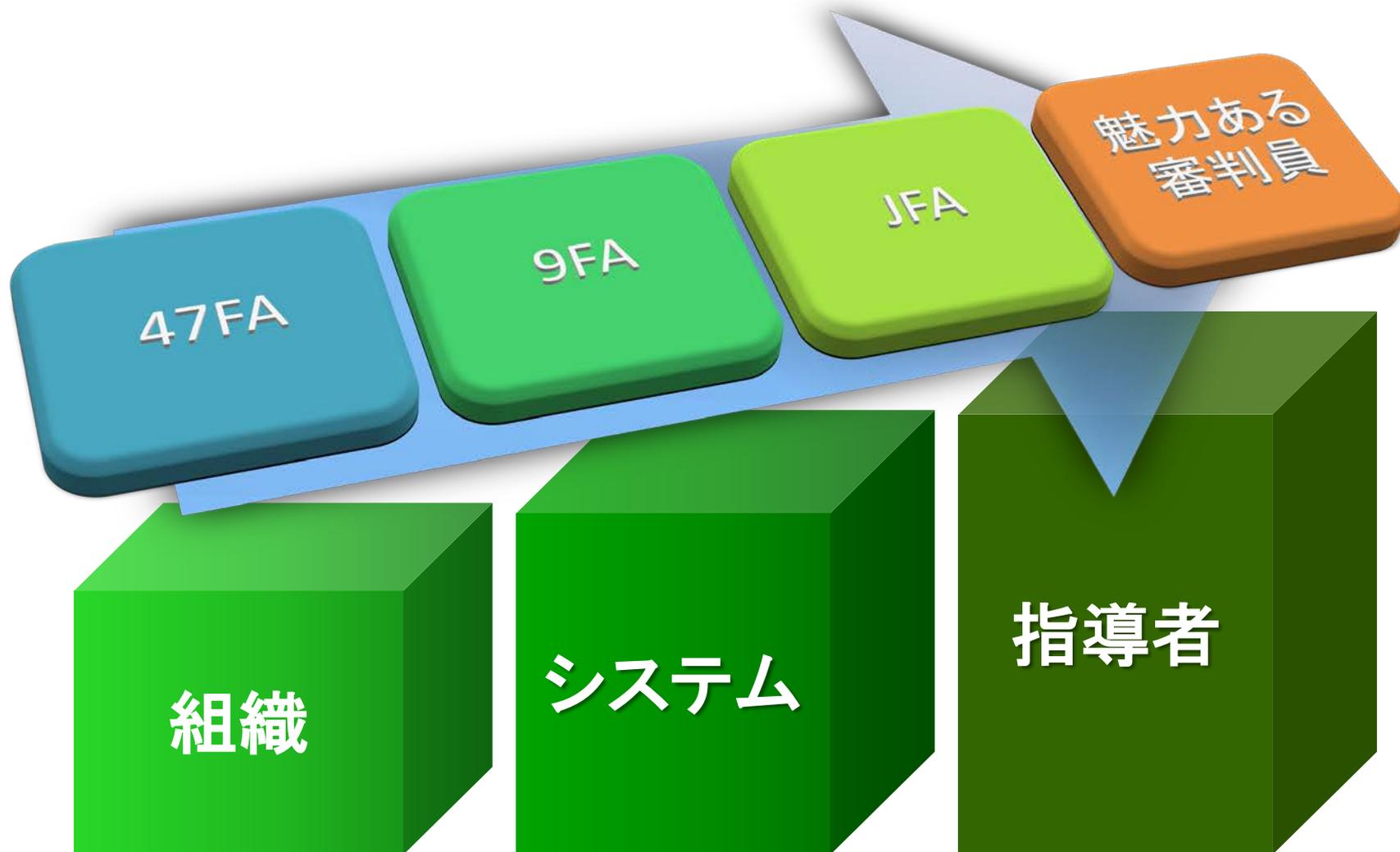
地域審判トレセン再構築における2017年以降の対応

- 現在、JFAから地域協会に支出している補助金については、2018年度まで同額とする
 - 現在、動いている事業を成立させるため
 - ただし、事業間での補助金の再配分をする
- 地域レフェリーアカデミーについては新たにJFAからの補助金を支出する
 - 地域FAの新たな事業となるため
 - JFAレフェリーカレッジ予算を地域レフェリーアカデミーに配分する
 - ✓ JFAレフェリーカレッジは本年度で終了
 - ✓ 各地域に100万円を目処とする

※2017年度上半期中までに現在の審判事業を見直した上で、JFA審判予算を精査し、2019年度以降の補助金を再検討する。

私たち審判委員会は....

自立した魅力のある審判員を育てるために



ありがとうございました。